

令和 7 年 1 月 27 日

柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合案に関する説明について

名古屋市教育委員会事務局
総務部教育環境整備課

令和 6 年 1 2 月 2 4 日に開催しました令和 6 年度第 3 回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会における審議会委員の皆さまからのご意見や、地域からいただいたご意見について、教育委員会の考えは以下のとおりです。

1 2 校統合の場合の児童数・学級数の推移

2 校統合の場合、残る 1 校の小規模校が解消されないだけでなく、統合する学校も 1 2 クラス程度の規模となり、再び小規模となる可能性があります。

詳細は別紙 1 を参照してください。

2 3 校統合の場合の通学距離比較

白水小学校以外の場所で統合する場合、通学区域の一部で、市が通学距離の目安としている 2 k m を超過します。

詳細は別紙 2 を参照してください。

3 通学区域の安全対策

通学区域内における現在の安全対策は別紙 3 のとおりです。

さらに、統合の決定後には、信号機や歩道橋の設置状況を踏まえた通学路の検討、歩行者用信号機やガードレールなどの安全施設設置の検討等を行っていきます。

4 学校跡地の活用

これまで統合した学校の跡地については、別紙 4 のとおり、全て指定避難所として利用可能となっています。

また、中村区役所等複合庁舎（旧本陣小学校跡地）等、多くの学校跡地では、体育館や会議室等を地域活動で継続的に利用することができています。

5 地域・保護者への説明状況等

令和 5 年度以降の説明状況は別紙 5 のとおりです。

今後開催する予定の地域説明会について、小学生の保護者、未就学児の保護者、地域のみなさまに広く周知を図れるよう、ご案内していきます。

2校統合の場合の児童数・学級数の推移

1 柴田小と白水小の2校が統合する場合

柴田+白水	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	417	426	413	414	399	380	349
学級数	15	16	15	15	14	14	13

※ 望ましい学校規模となるが、今後小規模化の可能性もあり。

白水小	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	212	194	187	192	192	198	184
学級数	9	8	7	8	8	9	7

※ 千鳥小の小規模校が解消できない。

※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

2 白水小と千鳥小の2校が統合する場合

柴田小	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	130	128	120	118	115	114	100
学級数	6	6	6	6	6	6	6

※ 柴田小の小規模校(単学級)が解消できない。

千鳥+白水	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	499	492	480	488	476	464	434
学級数	19	19	18	18	18	18	17

※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

3 柴田小と千鳥小の2校が統合する場合

※ 隣接しない学校同士のため、学校運営困難

3校統合の場合の通学距離比較

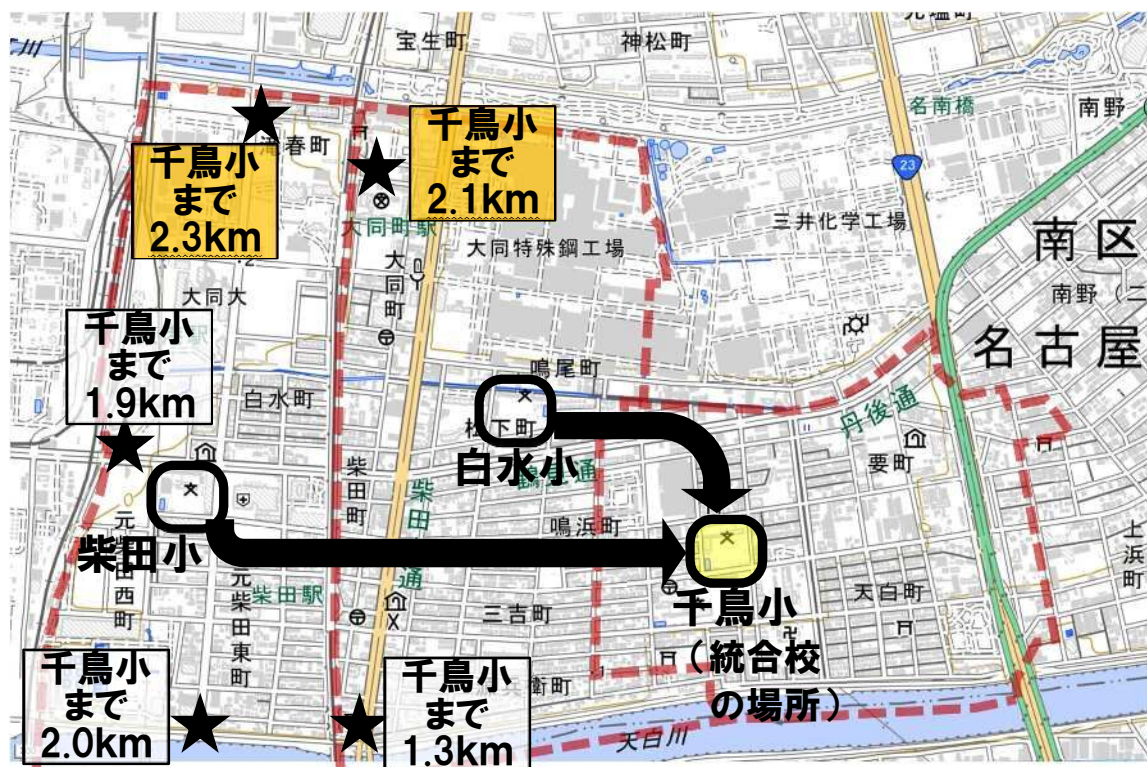
1 白水小学校の場所を統合校とした場合



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

⇒通学距離は2キロ以内に収まり、3学区の子どもたちにとって、通学の負担が少ない。

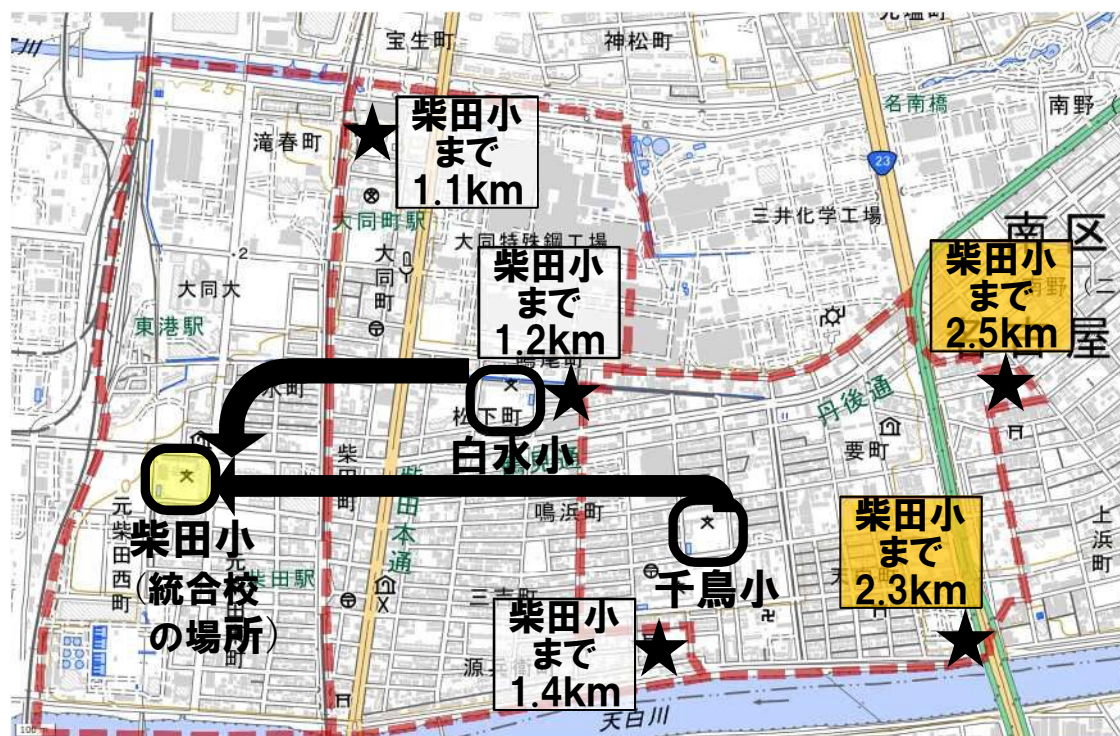
2 千鳥小学校の場所を統合校とした場合



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

⇒通学距離が2キロを超えるため、白水学区と柴田学区の子どもにとって、通学の負担がある。

3 柴田小学校の場所を統合校とした場合



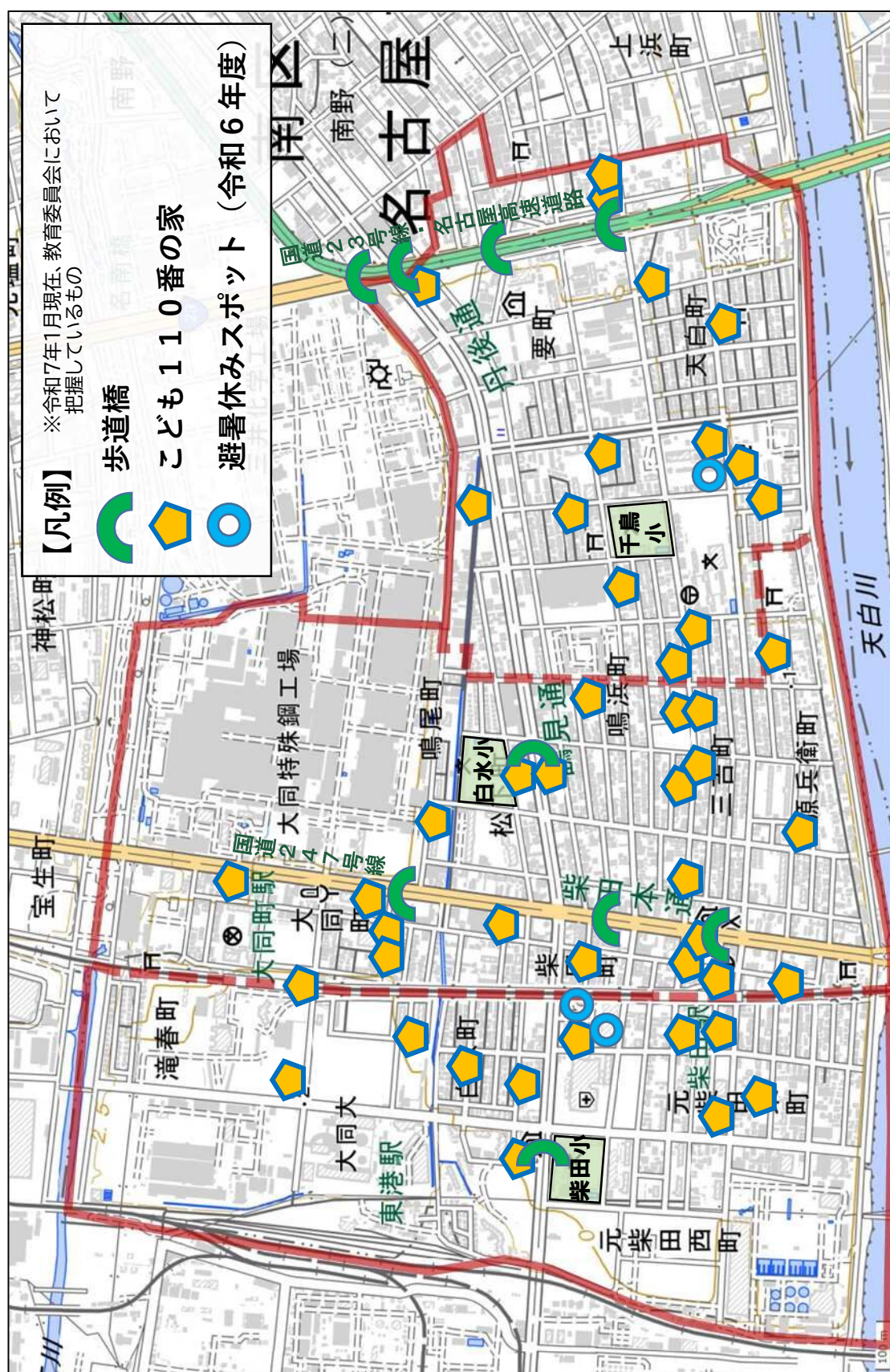
※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

⇒通学距離が2キロを超えるため、千鳥学区の子どもにとって、通学の負担がある。

(参考) 全市における通学距離の状況 (令和5年度調査)

最長通学距離	学校数 (小学校261校の内)
1. 6 km 以下	214校
1. 6 km 超 1. 7 km 以下	14校
1. 7 km 超 2 km 以下	25校
2 km 超	8校

通学区域の安全対策



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育局教育環境整備課が加工して作成したものです。

学校跡地のQ & A

Q 学校跡地は避難所にならないと聞きましたが、本当ですか。

A これまで統合による学校跡地は、全て指定避難所となっています。

※統合により使用しなくなった校地や校舎は、次のように有効活用されています。いずれの跡地も指定避難所となっており、地域の防災機能も確保されています。

区分	活用方法	指定避難所
旧江西小	インターナショナルスクール	インターナショナルスクール
旧那古野小	シェアオフィス	シェアオフィス
旧六反小	私立中学校	私立中学校
旧新明小	コミュニティセンター、笹島小中学校第2グラウンド等	コミュニティセンター
旧亀島小	亀島ふれあいセンター、民間保育園、公園、サービス付き高齢者向け住宅等	亀島ふれあいセンター、民間保育園
旧本陣小	中村区役所等複合庁舎	中村区役所等複合庁舎
旧御園小	暫定利用（教育委員会分室等）	旧御園小学校（体育館等）

Q 学校跡地の活用方法は、いつ決まりますか。

A 統合の決定後、地域のご意見等も踏まえて決定します。

※統合により使用しなくなる校地や校舎については、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら、余剰となる資産の有効活用を全市的な視点で検討します。

Q 学校跡地について詳しく知りたいのですが。

A 市公式ウェブサイトで公開しています。

※現在、市公式ウェブサイトの「学校跡地の活用状況」のページにより、最新の情報を公開しています。

(<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000119794.html>)



担当 教育委員会事務局教育環境整備課
子どもいきいき学校づくり担当

(電話) 052-972-4092 (FAX) 052-972-4176

柴田小・千鳥小・白水小の統合に関する地域・保護者への説明状況等

1 教育委員会からの説明・案内

(1) 「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合（案）について」の配布

- ア 地域（令和6年2月）
学区連絡協議会で説明のうえ、地域内で回覧。
- イ 小学生の保護者（令和6年2月）
児童を通じて配布またはデータで送付。
- ウ 未就学児の保護者（令和6年7月）
各家庭へ郵送（下記（3）と合わせて送付）。

(2) 「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合（案）に対するご意見・ご質問と教育委員会の考え方について（概要版）」の配布

- ア 地域（令和6年6月）
学区連絡協議会で説明のうえ、地域内で回覧。
- イ 小学生の保護者（令和6年6月）
児童を通じて配布またはデータで送付。
- ウ 未就学児の保護者（令和6年7月）
各家庭へ郵送（下記（3）と合わせて送付）。

(3) 小学生及び未就学児の保護者を対象とした意見交換会開催のお知らせ

- ア 小学生の保護者（令和6年7月）
児童を通じて配布またはデータで送付。
- イ 未就学児の保護者（令和6年7月）
各家庭へ郵送。

(4) 意見交換会での主なご意見に対する教育委員会の考えについてのお知らせ

- ア 地域（令和6年11月）
区政協力委員長へ手渡しし説明。
- イ 小学生の保護者（令和6年11月）
児童を通じて配布またはデータで送付。
- ウ 未就学児の保護者
 - （ア）令和7年度入学予定の未就学児の保護者（令和6年10月）
就学時健康診断にて説明し、配布。
 - （イ）その他の未就学児の保護者（令和6年11月）
3学区内の保育園・幼稚園等を通じて配布。

2 いただいたご意見等

(1) 「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合（案）について」へのご意見

区分	地域住民	小学生保護者	計
柴田小	1 件	1 件	2 件
千鳥小	8 件	1 件	9 件
白水小	0 件	8 件	8 件
不明	7 件	2 件	9 件
計	1 6 件	1 2 件	2 8 件

(2) 小学生及び未就学児の保護者を対象とした意見交換会の参加者数等

ア 小学生の保護者対象（6 回開催）

区 分	日 時		対象世帯数	参加者数
柴田小	7 月 2 3 日 (火)	午前 1 1 時～	9 9 世帯	1 世帯 2 人
		午後 3 時～		1 世帯 2 人
千鳥小	7 月 2 4 日 (水)	午前 1 1 時～	1 7 1 世帯	1 世帯 1 人
		午後 3 時～		0 世帯 0 人
白水小	7 月 2 5 日 (木)	午前 1 1 時～	2 2 2 世帯	5 世帯 5 人
		午後 3 時～		2 世帯 2 人
計			4 9 2 世帯	1 0 世帯 1 2 人

イ 未就学児の保護者対象（3 回開催）

区 分	日 時		対象世帯数	参加者数
柴田小	8 月 1 9 日 (月)	午後 6 時～	1 0 2 世帯	5 世帯 7 人
千鳥小	8 月 2 0 日 (火)	午後 6 時～	1 4 9 世帯	6 世帯 9 人
白水小	8 月 2 1 日 (水)	午後 6 時～	1 7 4 世帯	8 世帯 1 9 人
計			4 2 5 世帯	1 9 世帯 3 5 人

※ 意見交換会は、お住いの学区に関わらず、どの会場にも参加可能

※ 対象となる全世帯に対しては、前頁 1 (1) (2) のとおり、説明資料を配布済

3 今後の予定

審議会からの答申の後、地域、保護者に対する説明会を改めて開催する予定です。

当該説明会は、各学区にお住いの方、各小学校及び未就学児の保護者をご参加可能であり、平日の 1 8 時以降と、土曜日または日曜日で複数回開催します。

説明会のご案内については、広く皆さまにお知らせできるよう、地域内での回覧、小学校での配布や未就学児の保護者宛ての郵送のほか、本市ウェブサイトへの掲載も行う予定です。

柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合（案）について

柴田小学校と千鳥小学校では、児童数が減少し、学校規模の小規模化が進んでいます。そして今後も、小規模の状況が継続していく見込みです。

教育委員会では、子どもたちにとってより充実した教育環境となるよう、柴田小学校、千鳥小学校、白水小学校の3校を統合し、望ましい学校規模を確保することを検討しています。

今回、検討中の統合案の概要をまとめさせていただきましたので、お知らせいたします。ご意見等ございましたら、下記連絡先までお願いいたします。

なお、あくまで、現段階の案であり、正式に統合が決定しているわけではありませんので、あらかじめご承知おきください。



1 学校規模の考え方

01 「小規模校」ってどのような学校なの？

	11 12				24 25		30	31(学級数)
小学校	小 規 模				望ましい規模		大規模	過大規模
中学校	小規模	望ましい規模				大規模	過大規模	
	5 6	8 9	18 19		24 25	30	31(学級数)	

名古屋市では、小学校ではクラス替えのできない学年が生じる11学級以下、中学校では5学級以下の学校を「小規模校」と考えています。柴田小学校と千鳥小学校は小規模校に該当します。

02 小規模校のよいところ・困ることについて

小規模校の「よいところ」は？

一人一人の活躍の
場が多い
みんなが主役

職員の目がよく届く
アットホームな雰囲気

盛んな異学年交流
縦割り活動が盛ん

学級数が少ない
ので施設をゆつ
たり使える



小規模校の「困ること」は？

行事が寂しく、教育
効果が下がる

多様な考えに出会え
る機会が少ない

クラス替えができ
ないと、人間関係で
トラブルがあった場
合に、嫌な気持ちを
抱いたまま、我慢さ
せている可能性が
ある

ずっと同じ顔触れ
だと、新しい気持ち
で頑張ろうという
思いや、切磋琢磨す
る気持ちが湧きに
くい

男女比の偏りが生じ
やすい

集団学習、グループ
活動などに制約が出
る

【ご意見等ありましたら、お気軽にお知らせください。】

名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-3282 FAX：052-972-4176 E-MAIL：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

この資料がダウン
ロードできます→



2 統合の方向性について

01 どのような統合を検討しているの？

○柴田小と千鳥小は小規模校であり、下の表のとおり今後も小規模校が継続する見込みであることから、隣接する白水小学校と3校で統合し、統合場所は現在の白水小の場所を検討しています。



■2校での統合は考えられないの？

「柴田小と白水小の2校統合」または「千鳥小と白水小の2校統合」だと、残された1校の小規模が解消できません。また「柴田小と千鳥小の2校統合」は、場所が隣接していませんし、再び小規模校になってしまう可能性が高いと考えます。適切な学校規模を将来的にも確保できるように3校での統合が望ましいと考えています。

■名南中学校も一緒にして小中併設型の学校は考えられないの？

名南中まで統合に含めると大規模になり過ぎてしまいます。また、敷地面積を考えると統合場所は名南中の場所が想定されますが、柴田学区の児童から距離が遠くなり過ぎてしまいます。このように、小中併設型は適さないと考えています。

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
柴田小	126人 6学級	132人 6学級	129人 6学級	118人 6学級	116人 6学級	110人 6学級	108人 6学級
千鳥小	204人 8学級	215人 9学級	195人 8学級	182人 7学級	195人 8学級	197人 8学級	198人 8学級
白水小	282人 12学級	298人 12学級	302人 12学級	301人 12学級	299人 12学級	288人 11学級	271人 11学級
3校統合校	612人 22学級	645人 22学級	626人 22学級	601人 21学級	610人 21学級	595人 21学級	577人 20学級



※特別支援学級は、設置基準が異なることから、ここで示す数には含めていません。

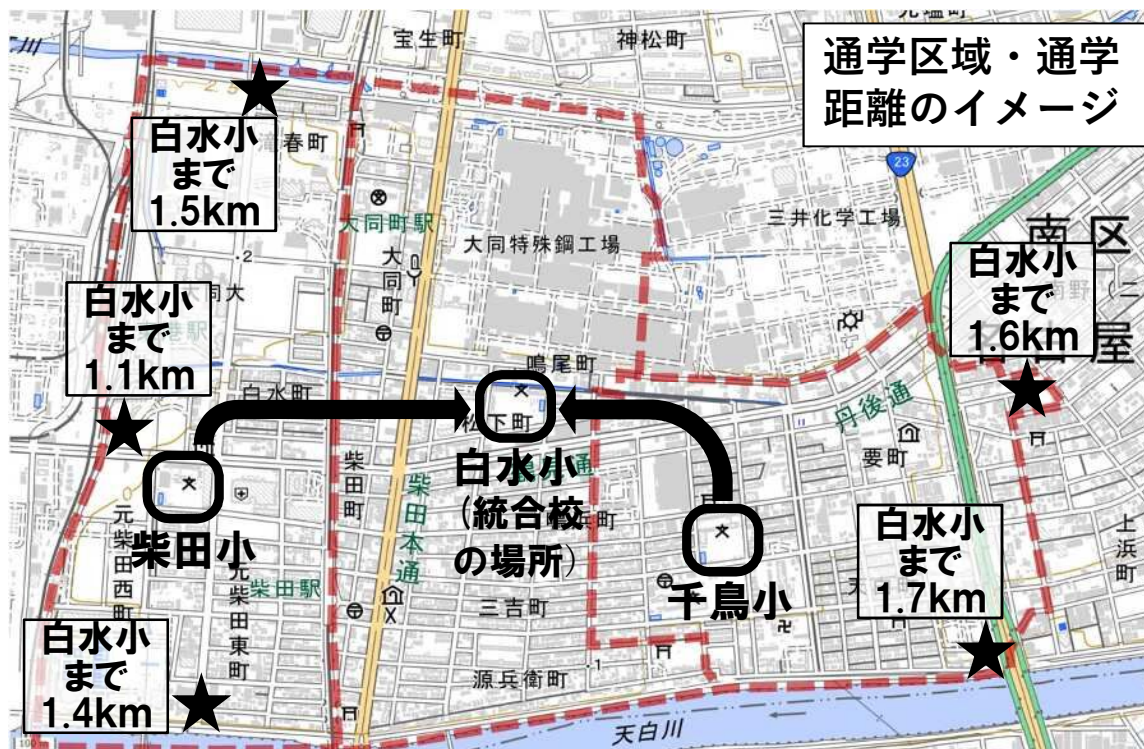
02 統合したら、どこに通学することになるの？遠くないの？



○統合校を開校する際は、いったん白水小の児童は、柴田小または千鳥小に通うことを検討しています。3年程度かけて、白水小学校の場所に新しい校舎を建設し、完成後にすべての児童が新校舎に通うことを想定をしています。

具体的な見通しは、後述の「3 今後のスケジュールについて(想定)」をご参照ください。

○名古屋市では、小中学校の通学は徒歩を基本とし、距離は小学校概ね2km、中学校概ね3kmを目安とします。柴田小、千鳥小の通学区域のうち白水小までの距離が最も遠い地域でも、市の基準の通学距離である2km以内となります。次のページの地図をご参照ください。



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

03統合したら、どんな校舎になるの？

白水小の校舎と体育館を建て直すことを検討しています。新しい学びに対応する充実した教育環境や、防災機能を兼ね備えた新しい校舎を建設する予定です。

参考 統合校の校舎のイメージ ※西区なごや小学校

下の写真は西区のなごや小学校です。なごや小学校は、平成27年に幅下小学校・那古野小学校・江西小学校の3校が統合し、開校しました。



従来の1.5倍の広さの教室



きれいで明るいトイレ 多機能トイレも併設



木のぬくもりが感じられる内装



エレベーター



避難者支援室

04 通学路の安全は大丈夫なの？

統合の決定後、統合校の開校に向けて、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組めます。

(これまでの取り組みの例)

歩行者用信号機の時間調整、ガードレールなどの安全施設設置、注意標識設置、交通指導員配置、通学練習会実施など



05 柴田小と千鳥小の跡地はどうなるの？

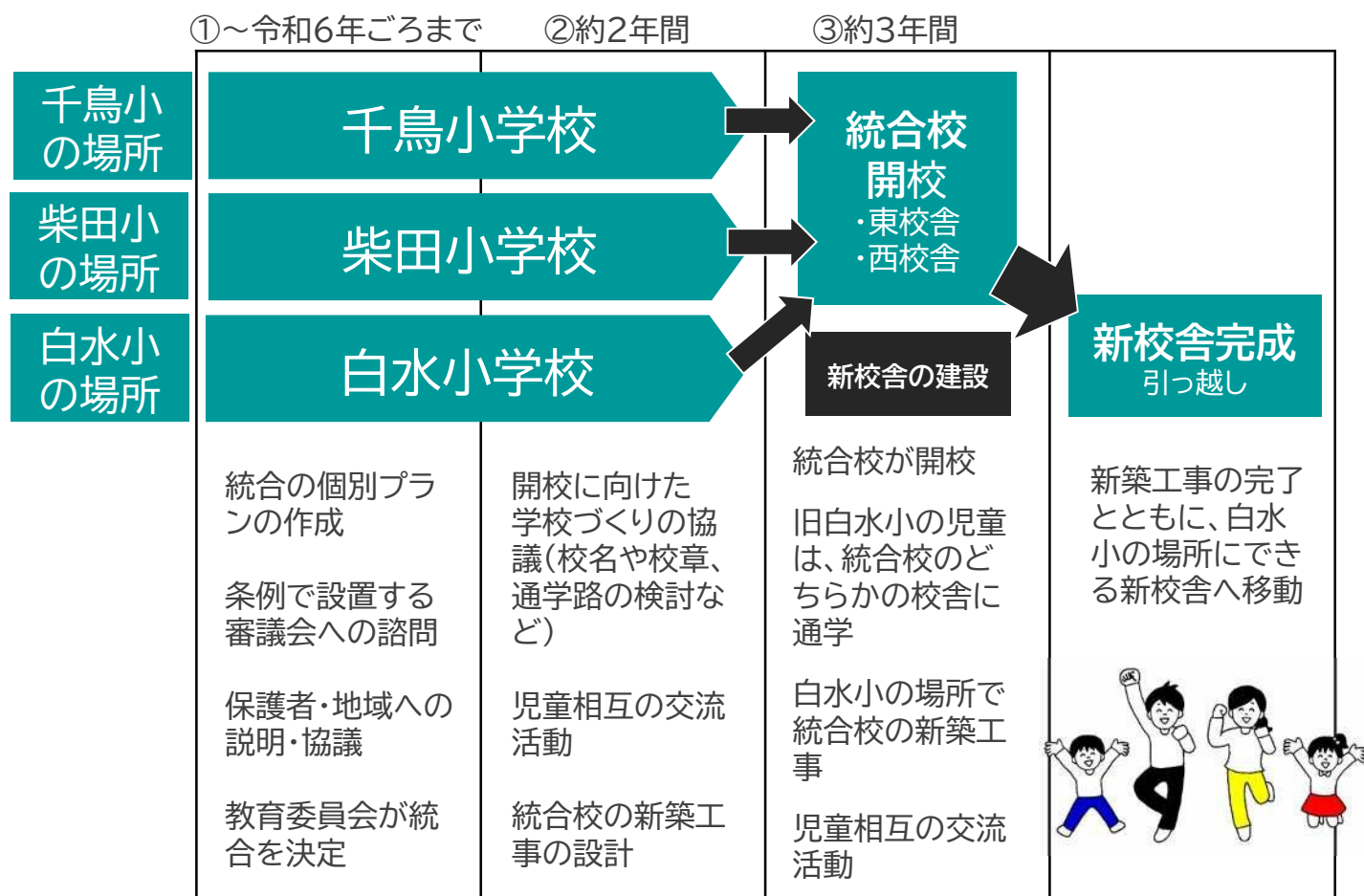
跡地活用の検討は、統合決定後に始まります。避難所機能と地域の活動の場に配慮しながら、教育委員会だけでなく市の他部局も一緒に、どのような活用ができるかを検討します。過去の跡地活用では、私立学校や区役所、ワーキングスペースなどの例があります。

06 3学区の地域の活動はどうなるの？

小学校が統合しても、地域の活動は3つの学区のまま存続できます。

3 今後のスケジュールについて(想定)

これまでの統合の先行事例を踏まえ、想定するスケジュールです。現在は①の途中にあたります。



柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合(案)に対するご意見・ご質問と 教育委員会の考え方について(概要版)

令和6年2月に「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合(案)について」の資料を該当校の保護者と地域の皆様に配布または回覧させていただきました。資料に対していただいたご意見等に関し、教育委員会の考え方をまとめました。詳細な内容は「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合(案)に対するご意見・ご質問と教育委員会の考え方について(詳細版)」を下記 URL か QR コードでご覧ください。

※ご意見については、同様の趣旨ものが多数ありましたので、ご意見の内容をまとめて作成させていただいております。

統合案資料(2月配布)と教育委員会の考え方(詳細版)

<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000175465.html>



(参考)丸の内小アンケート結果(詳細版)

<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000172481.html>



【統合案について】

Q 白水小での3校統合以外の案はないですか？白水小を分割し2校で統合する案や名南中も含めた小中一貫校はどうですか？

A 白水小を分割して柴田小と千鳥小に分ける場合、少子化により児童数の減少傾向が続く中、再び小規模校になってしまう恐れがあります。

また、名南中まで統合に含めると、学級数が小中合わせて30学級近い大規模校になってしまいます。敷地面積を考えると統合場所は名南中(あるいは名南中と千鳥小両方)が想定されますが、柴田学区の児童の通学距離が目安とする2kmを超えてしまいます。

以上から、白水小の場所での3校統合が通学距離や学校規模の面で望ましいと考えます。

【通学距離・登下校について】

Q 通学距離が長くなり荷物も重く子どもの負担が大きいのでは？通学途中の交通事故の危険が高く心配です。

A 本市では、小学校と中学校の通学は徒歩を基本とし、小学校は概ね2km、中学校は概ね3kmを目安としています。3つの学区から白水小の場所までは、いずれも2kmを超えないことから、まずは子どもたちが徒歩で安心して通学できる方策について検討したいと考えています。

通学の安全対策については、統合の前年度までに、両校の保護者や地域の方々とともに、具体的な通学路の設定とその安全対策について検討します。また、子どもたちの通学練習会等、交通安全指導にも取り組んでまいります。

(参考)他の統合校での通学安全対策の実施例

◆「止まれシール」の設置



PTA 役員の皆さん、学校、教育委員会で、横断歩道の手前などに「止まれシール」を貼りました。

◆歩車分離式信号機(押しボタン式)の設置



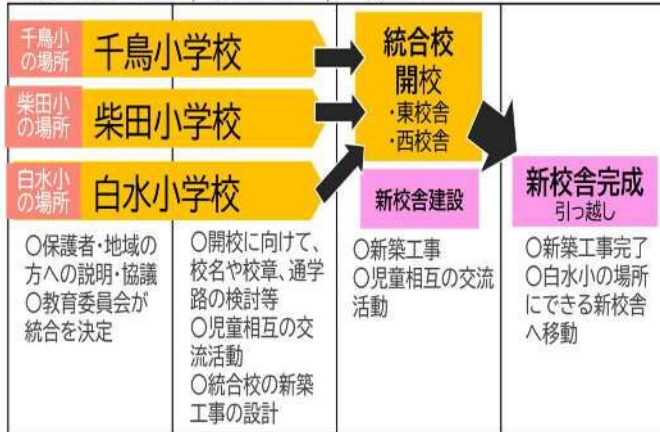
警察と協議して、交通量の多い交差点に、歩車分離式信号を設置しました。

【今後の見通しについて】

Q 何年後に新しい学校に通うのですか？

A 下の資料は最短で統合決定をした場合の想定です。スケジュールの目安としてお考えください。（統合決定していない現段階では明確な時期をお伝えすることはできません。）

①令和6年頃まで【現在】➡②約2年間➡③約3年間



【新校舎工事中に通学する学校について】

Q 白水の子が分かれないうようにしてほしいです。東校舎・西校舎を選べるようにするなど、子どもの気持ちを最優先で検討し、子どもの不安を解消してほしいです。

A 新校舎工事中に通学する学校については、原則白水小の児童全員が、教室がたくさんある千鳥小に通うこととし、柴田小の児童はそのまま柴田小に通学することを検討しています。なお、白水小の児童のうち、柴田小に通う方が通学距離や安全面等のご事情がある場合は、柴田小も選択できることを検討しています。

統合への子どもたちの不安を解消するため、統合前から合同で遠足や野外教育活動を行うなど、児童の交流活動を行ってまいります。

また、交流活動として合同でレクリエーションを行うこともあります。統合後も子どもたちがスムーズに学校生活を始められるよう、クラス編成に配慮したり、スクールカウンセラーの配置時間を増やしたりするなど、子どもたちの学校生活が軌道に乗るまで、配慮してまいります。

【跡地活用について】

Q 跡地活用も一体に検討してほしいです。跡地は防災センターとして地域活用できる建物を建設してほしいです。

A 跡地の活用方法は、統合の決定後、地域に必要な避難所機能など地域の関係者等のご意見もお聞きした上で、関係部局とも連携を図りながら全市的な視点で検討してまいります。
本市ではこれまで5つの統合校を開校しましたが、跡地となった7か所の旧小学校は、統合後もすべて指定避難所となっています。

（参考）統合後の跡地活用の事例

◆シェアオフィス等での活用【旧那古野小（西区）】



校舎はシェアオフィス等に活用されています。体育館は指定避難所に指定され、地域活動にも利用されています。

統合（案）について、ご意見等ありましたら、下記までご連絡ください。

名古屋市教育委員会 教育環境整備課

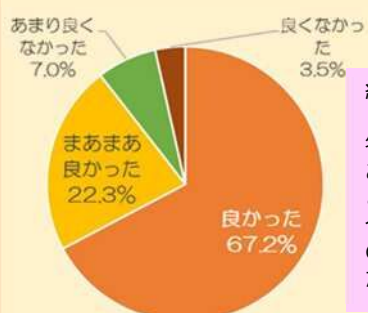
電話 052-972-3282

ファックス 052-972-4176

E-mail: a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

（参考）R5.4 に統合した中区丸の内小学校でのアンケート結果（R5.12 実施）

◆（児童）丸の内小学校になって人数が増えましたが、そのことをどう思いますか。



約7割の児童が「良かった」と回答しており、「まあまあ良かった」と回答した児童と合わせると約9割の結果となりました。

◆（保護者）お子様は丸の内小学校に慣れたように感じますか。



約8割の保護者が「慣れた」と回答しており、「どちらかといえば慣れた」と回答する保護者と合わせると9割を超える結果となりました。

柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合(案)について

望ましい学校規模を確保し、良好な教育環境とするため、柴田小学校、千鳥小学校、白水小学校の3校を統合することを検討しています。

7月から8月にかけて、小学生・未就学児の保護者のみなさまに向けて開催した意見交換会で、いただいた主なご意見について、教育委員会の考えをお知らせします。



○小規模校＝クラス替えのできない学年が生じる11学級以下の学校

小学校	小規模	望ましい規模	大規模	過大規模		
	11	12	24	25	30	31(学級数)

○小規模校の課題

- ・多様な考えに出会える機会が少ない
- ・集団学習、グループ活動などに制約が出る
- ・クラス替えができず、人間関係でトラブルがあった場合に、嫌な気持ちを抱いたまま、我慢させている可能性がある
- ・教員数が少ないため、教員一人あたりの校務や行事に関わる負担が大きい

これまでお配りしている統合に関する資料はこちらからご覧いただけます。



児童の交流



統合が決定したら、事前の交流活動をしつかり行ってほしいです。

クラス編成は、知らない子ばかりのクラスにならないように配慮してほしいです。

統合前から合同での遠足や野外教育活動を行うなど、事前の交流を行います。また、統合後も子どもたちがスムーズに学校生活を始められるように、クラス編成や先生の配置には配慮します。



統合のスケジュール



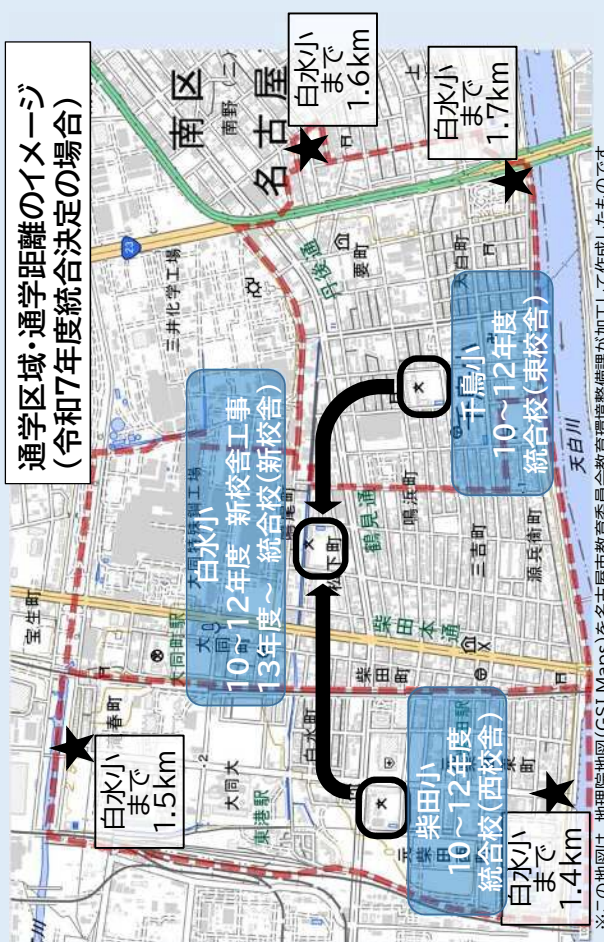
統合が決定した後のスケジュールはどうなりますか？

仮に令和7年度に統合決定した場合は以下のように進みます。

- 令和9年度
開校準備(校名や校章の決定、通学安全対策などの実施)
- 令和10年度
統合校が東校舎(千鳥小の場所)、西校舎(柴田小の場所)で開校
- 令和10～12年度
新校舎(白水小の場所)工事
※工事中、白水小の児童は、原則東校舎へ通学(一部、西校舎の選択も可能)
- 令和13年度～
新校舎(白水小の場所)へ通学



通学区域・通学距離のイメージ
(令和7年度統合決定の場合)



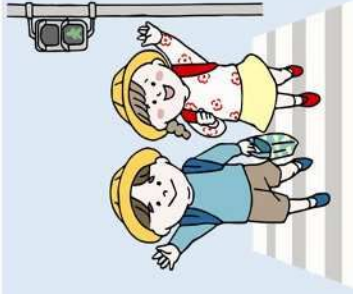
※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育局教育環境整備課が加工して作成したものです。

通学の安全



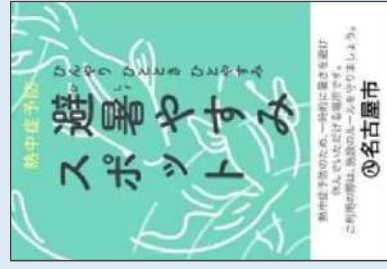
通学距離が長くなるので、交通安全や防犯対策をしっかりと行ってほしいです。

例えば、警察と連携して歩車分離式信号の設置、こども110の家の設置や、交通安全教室の開催などを検討しています。



熱中症の対策もしっかり行ってください。

冷却グッズの使用を可とするよう学校と調整したり、避暑やすみスポット(注)を設置したりといった対策を考えています。
交通安全、防犯対策とともに、学校や地域のみなさまと協議しながら対策を進めてまいります。



(注)

熱中症予防のために、市民の方が、暑さを避けて一時的に休憩していただける場所です。

その他



柴田小と千鳥小に地域の避難所としての機能は残りますか？

残ります。
これまで統合した学校の跡地は全て避難所機能を有しています。



今後も様々な意見が出てくると思いますが、伝える場はありますか？



統合決定前に行う地域説明会や、統合決定した後に開校に向けた準備を行う会などにて、ご意見をお伺いします。



これまでも統合の話がありましたが、進むことはありませんでした。
今回は予定どおりに進みますか？

令和元年度にスタートした「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」に基づいて、既に4ケースの統合が決定しています。
柴田小、千鳥小、白水小についても、教育委員会として、みなさまのご理解を得られるよう努め、統合に向けて進めるよう責任を持って取り組んでまいります。



多くのご意見ありがとうございました。
いただきましたご意見を踏まえ、子どもたちのための学校づくりを進めてまいります。

【ご意見等ありましたら、お気軽にお知らせください。】

名古屋市教育局事務局教育環境整備課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話:052-972-3282 FAX:052-972-4176

E-MAIL:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp